

平成30年度事業報告

本会は、公益財団法人として適正な運営に努めるとともに、県民の健康増進と体力向上による、豊かな活力に満ちた地域社会づくりに寄与するため、「競技力の向上」と「生涯スポーツの振興」を目指して次の事業を実施した。

競技力向上対策事業

1 競技スポーツ推進事業

中・長期的に競技水準を維持・向上させ、全国や世界で活躍する選手の継続的な育成を図るため、競技力の基盤を支える少年の強化と地域の特色を生かした競技スポーツの充実を図った。

山口県競技力向上対策委員会において、福井国体の目標を総合成績10位台としたが、総合成績35位と前回より5つ順位を上げたものの、満足いく結果ではなかった。

(1) 山口県競技力向上対策委員会

中・長期的に競技水準の維持・向上を図るため、競技力向上対策委員会を開催し、選手の育成・強化や指導者の養成、スポーツ医・科学の活用等を総合的・計画的に推進した。

◆年2回開催（11月、3月）

(2) オリンピックの機運を活用したジュニアの人材発掘

東京オリンピック開催を契機とした競技力向上の機運のもと、ジュニアアスリートの確保を強化し、国体や世界大会で活躍する選手の継続的な発掘・育成を行う。

① やまぐちチャレンジキッズ

競技力向上のため、成長期におけるジュニア選手に「運動の基礎となる身体能力を向上させるトレーニング」と「複数の競技を体験する機会」を提供し、競技団体が実施する次世代アスリートの発掘・育成を支援した。

◆小学4・5年生57名

② YAMAGUCHI ジュニアアスリートアカデミー

山口県から世界へ羽ばたくアスリートを育成するため、スポーツ能力に優れた児童を早期に発掘し、小学4年生から中学3年生を対象に、「レスリング」、「セーリング」及び「フェンシング」の3競技に特化した育成プログラムを展開した。

◆小学生28名、中学生29名

(3) オリンピック等を見据えたジュニアの育成・強化

少年競技における選手の育成・強化活動に戦略的・効果的支援を行うことにより、国体総合成績10位台を達成できるよう本県競技水準の向上を図る。

① チームやまぐちパワーアップ事業(少年育成強化)

国体総合成績10位台の達成に向けて、有望競技種別を重点強化し、各競技団体が行うジュニアの育成から有望な選手の強化活動（中高成連携合同強化練習・強豪チームを招へいした強化試合等）まで、長期的な視点から戦略的な支援を行った。

◆38競技団体

② 中学生育成・強化支援

全国大会・国体等での活躍を目指して、県中学校体育連盟に対し、部活動の日常的な練習や外部指導者の招へい等に対し重点的な支援を行うとともに、中学校・高等学校の一貫した強化体制の構築による競技力の向上に取り組んだ。

◆8競技（中学校体育連盟加盟競技）

③ 強化・育成拠点校活動支援

全国大会・国体等での活躍が期待される県内の強化・育成拠点校に対し、部活動の日常的な練習や外部指導者の招へいなどに対し重点的な支援を行うとともに、中学校・高等学校の一貫した強化体制に努め、少年競技における競技力の向上に取り組んだ。

◆ 26 競技 38 校 64 部

(4) 地域の活性化を見据えたチームやまぐちの強化

成年競技の競技力向上に直結する、ふるさと選手や高い競技力を有するクラブや競技者を確保・活用し、「チームやまぐち」の活躍による県民に夢と感動を与え、地域の活性化に繋げる取り組みを行った。

① チームやまぐちパワーアップ事業(成年強化・ふるさと選手の活用)

国体総合成績10位台の達成に向けて、有望競技種別を重点強化し、ふるさと選手の確保・活用や強豪チームとの強化試合への支援など、各競技団体が行う強化活動に対して、実効性のある支援を行った。

◆ 41 競技団体

② トップスポーツクラブの活動支援

全国大会・国体等での活躍が期待できるトップレベルの企業・大学・クラブチームをトップスポーツクラブとして強化指定し、日常的な練習に対し重点的な支援を行うことにより、成年競技における競技力の向上に取り組んだ。

◆ 11 競技 13 チーム

③ 国体選手（トップ指導者）の活用

競技水準の維持・向上及び指導者等の資質向上を目的として、全国から招へいたトップレベルの競技者・指導者を引き続き確保するとともに、こうした人材を活用して競技スポーツ及び地域スポーツの普及促進に取り組んだ。

◆ 1 名

(5) 特殊用具等整備事業

練習競技用具、特殊用具・備品等の整備を支援した。

◆ 11 競技団体

(6) 優秀選手指定制度

国体等で活躍が期待される選手を「優秀選手」として指定し、その活動を支援することにより、山口県代表選手としての誇りと自覚を促すとともに、県内定着やふるさと選手の活用等を行い、競技力の向上を図った。

◆ 25 競技団体 224 名

(7) 山口次世代コーチーズ育成事業

中央競技団体や全国トップレベルの指導者と密接に連携し、指導者の更なる指導力の向上と、次代を担う指導者の育成に取り組んだ。

① トップコーチ育成支援

県内指導者等が、中央競技団体や公益財団法人日本スポーツ協会等の指導者養成講習会に参加し、国体監督の資格等を取得するとともに、県内指導者への伝達講習会を実施する等により、県内指導者の資質向上を図った。

◆ 10 競技団体

② コーチングセミナー支援

全国トップレベルの指導者を招へいし、県内強化練習会等で選手への直接指導と同時に、県内指導者の研修会等を行うことにより、県内指導者の資質向上を図った。また、全国ト

ップレベルの指導者をスーパーアドバイザーとして、年間定期的に県内強化練習会等に招へいし、強化拠点における県内指導者の資質向上を図った。

◆ 29 競技団体

(8) スポーツ医・科学サポート事業

スポーツ医・科学を活用した科学的データに基づき、競技特性や選手個々の技能・身体の発達段階を踏まえたサポート体制の充実に取り組むとともに、日本スポーツ振興センター等との連携により、将来の有望選手を育成する「YAMAGUCHI ジュニアアスリートアカデミー」、「やまぐちチャレンジキッズ」を実施した。また、アンチ・ドーピング教育等を実施し、健全なスポーツ活動の推進に努めた。

◆ジュニアアスリートサポート

- ・ 15 競技 30 団体 61 回

◆サポートスタッフ派遣

- ・ スポーツドクター、スポーツトレーナーの派遣 延 51 名
- ・ スポーツトレーナー研修会 3 回/年 参加者：126 名

◆巡回指導

【スポーツ栄養サポート】 11 競技 19 団体

【メンタルトレーニングサポート】 12 競技 22 団体

【フィジカルトレーニングサポート】 6 競技 11 団体

◆タレント発掘・育成

【YAMAGUCHI ジュニアアスリートアカデミー】

- ・ 身体能力開発プログラム：コーディネーショントレーニング他
- ・ 専門競技プログラム：レスリング、セーリング、フェンシング

【やまぐちチャレンジキッズ】

- ・ 身体能力開発プログラム：コーディネーショントレーニング他
- ・ 競技体験プログラム：水球、ホッケー、自転車、ビームライフル、クライミング、ボウリング、ラグビーフットボール、アーチェリー、ソフトボール(女子)

◆スポーツ指導者講習会

- ・ フィジカルトレーニング講習会 参加者：44 名
- ・ メンタルトレーニング講習会 参加者：47 名
- ・ 女性アスリートに関する講習会 参加者：60 名

◆アンチ・ドーピング教育・啓発事業

- ・ アンチ・ドーピングに関する情報発信及び窓口の設置

◆情報配信サービス

- ・ YMS Network (10 回)

2 国民体育大会派遣事業

(1) 第 73 回国民体育大会(第 74 回冬季大会)中国ブロック大会の開催・選手団派遣

競 技	期 日	場 所	参加者総数
			山口県選手団
本大会 水泳他 31 競技	平成 30 年 5 月 26 日(土)～8 月 26 日(日)	山口県 10 市 1 町 県外 3 市 1 町	3, 566 名
			709 名
冬季大会 アイスホッケー	平成 30 年 12 月 8 日(土)～9 日(日)	広島県	150 名
			20 名

(2) 第73国民体育大会への選手団派遣

競技	期 日	場 所	派遣人数
本大会 陸上他 34 競技	平成 30 年 9 月 29 日(土)～10 月 9 日(火)	福井県	4 7 2 名
会期前開催 水泳他 3 競技	平成 30 年 9 月 9 日(土)～17 日(日)		

※ 天皇杯総合成績は別途記載

(3) 第74回国民体育大会冬季大会への選手団派遣

競技	期 日	場 所	派遣人数
ス キ ー	平成 31 年 2 月 14 日(木)～17 日(日)	北海道 札幌市	12 名

3 高校スポーツ奨励金制度の実施

県内外優秀選手の県内高校への進学支援を目的に奨励金制度を実施し、競技スポーツ活動の向上を図った。

◆ 3 競技 1 4 名

総合的スポーツ振興事業

1 山口県体育大会開催事業

「やまぐち総合スポーツ大会」の一環として山口県体育大会を開催し、広く県民スポーツの普及振興を図った。

部 別	中心開催日	会場地	参加者数
スポーツ少年団	平成 30 年 9 月 23 日(日・祝)	7 市	4, 3 5 3 名
中学校	平成 30 年 9 月 29 日(土)・30 日(日)	8 市	5, 4 7 0 名
高等学校	平成 30 年 11 月 11 日(日)	10 市 2 町	9, 8 8 1 名
一 般	平成 30 年 11 月 4 日(日)	10 市	4, 5 8 0 名
ス キ ー	平成 31 年 1 月 13 日(日)・14 日(祝)	広島県	中止(雪不足)
合 計			2 4, 2 8 4 名

2 地域スポーツ振興事業

(1) 地域スポーツ振興の一環として、本県で開催される伝統的な競技会や全国・中国大会レベルの競技会に対して助成を行った。

- ・ 伝統的競技会：防府読売マラソン大会等 9 競技
- ・ 全国的競技会：全国大会 3 競技、中国大会 8 競技

(2) 地域スポーツの普及、振興を図ることを目的に、郡市体育協会・国体正式競技以外の加盟競技団体等が主催する各種スポーツ事業に助成を行った。

- ・ 郡市体協主催：11 事業
- ・ 国体正式競技以外主催：6 事業

(3) 地域住民にスポーツ活動実践の場を提供しスポーツ活動の定着を目指すとともに、公認スポーツ指導者の地域における積極的な活用を図るため、各市町体育協会が実施するスポーツ教室に対して助成を行った。

- ・ 実 施 数：20 教室（6 市体協）

3 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業

(1) 巡回支援・実技指導(クラブ、市町等)

生涯スポーツの支援体制の整備を図るため、県内 3 か所に、「生涯スポーツ推進センター」を設置し、スポーツコンシェルジュを 2 名配置し、市町主管課、創設支援クラブ、設

立済総合型クラブへの巡回調査、育成支援、実技指導を実施した。

◆実施回数

コンシェルジュA	コンシェルジュB	合計
134	129	263

(2) 研修会等・スポーツ指導者等派遣

総合型クラブの啓発や普及、定着を図るために各種の研修会等を実施するとともに、各クラブ等の活動の充実を図るため、専門的な指導者・有識者等を派遣した。

◆会議・研修会開催

- ・第1回創設・育成研修会（兼：市町担当者会議） 48名
- ・第2回創設・育成研修会（資格認定講習会「スロージョギング」） 11名
- ・クラブマネジメント講習会（兼：アシスタントマネージャー養成講習会）
2日間（のべ29名）

◆スポーツ指導者等派遣

- ・派遣団体 28団体（派遣延べ回数：計179回 参加人数：計4,218人）

(3) 地域スポーツフェスタ

総合型クラブやスポーツ少年団等に対する理解を深め、各クラブの活動の充実及び会員数の増加を図るため、県内を7地域に分けてそれぞれに連絡協議会を組織し、クラブ間の情報交換や共同して行うイベントを開催した。

地域	市 町 名	開催日	内 容
岩国	岩国市・和木町	12/16	パターdeビンゴ ノルディックウォーク
柳井	柳井市・田布施町・平生町 周防大島町・上関長	1/27	講演会
周防	周南市・光市・下松市・防府市	11/23	陸上教室 ミニトランポリン
山口	山口市	10/14	グラウンド・ゴルフ ニュースポーツなど
厚狭	山陽小野田市・宇部市・美祢市	11/11	薬草ウォーク
長門	長門市	6/23・24 7/1	バレーボール教室 各種スポーツ大会など
下関	下関市	10/14	各種スポーツ体験教室など

4 青少年スポーツ育成事業

「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを!」「スポーツを通じて青少年のこころとからだを育てる組織を地域社会の中に!」の理念の下に、本県スポーツ少年団組織の充実強化を図った。

(1) 登録促進事業

- ・団 数 817団
- ・指導者数 4,346名
- ・団員数 16,622名(加入率 小学生23.44%)

(2) 指導者・リーダー養成及び研修事業

- ・認定員養成講習会兼スポーツリーダー養成講習会の開催
- ・各種研修会への派遣
- ・ジュニア・リーダースクールの開催

(3) 団活動の充実強化事業

- ・山口県体育大会スポーツ少年団の部の開催
- ・全国・中国ブロック交流大会への派遣
- ・第41回全国スポーツ少年団剣道交流大会の開催

(4) 国際交流事業

- ・日独同時交流事業の受入 下関市 10名
- ・日独同時交流事業の派遣 山口市 1名

(5) 顕彰事業

- ・山口県スポーツ少年団表彰 10団体・指導者14名
- ・日本スポーツ少年団表彰 1団体・指導者 3名

(6) スポーツ少年団育成のための普及啓発事業

- ・「子ども遊び・スポーツ」推進事業 8市町実施
- ・「アクティブ・チャイルド・プログラム」普及啓発事業 1町実施

(7) 地域スポーツ拠点育成支援事業

◆地域指導者養成研修会Ⅰ（兼ACP普及講習会）

- ・期 日 平成30年6月9日（土）
- ・場 所 宇部市 ココランド山口
- ・参加者 45名

◆地域指導者養成研修会Ⅱ（兼ACPブラッシュアップ研修会）

- ・期 日 平成30年10月27日（土）
- ・場 所 山口市 維新百年記念公園スポーツ文化センター
- ・参加者 41名（ACP普及講習会受講者対象）

◆地域スポーツ指導者養成事業（地域指定）

地域人材の育成を図るため、スポーツ少年団と連携して、幼児対象のACPを実施した。

- ・場 所 周南市立鹿野小学校体育館（9回）
宇部市立上宇部小学校体育館（9回）

◆女性指導者・リーダー養成研修会「スポーツの絆 WOMAN 和ークル」

第1回

- ・期 日 平成30年7月7日（土）
- ・場 所 周南市 キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター
- ・参加者 57名

第2回

- ・期 日 平成30年12月22日（土）
- ・場 所 山口市 カリエンテ山口
- 参加者 32名

期 日：平成30年1月13日（土）

◆体育・保育で活かせるACP研修会

- ・期 日 平成30年8月28日（火）
- ・場 所 周南市 徳山大学
- ・参加者 21名

5 国際スポーツ交流事業

スポーツを通じた国際交流の促進を図るため、市町体育協会が実施する事業に対し助成を行った。

◆助成事業 2市4事業

- ・実施団体：下関市…大韓民国釜山広域市（剣道・ソフトテニス・ヨット）
防府市…大韓民国（ソフトテニス）

6 スポーツ指導者養成・研修事業

(1) スポーツ指導者養成講習会の開催

地域においてスポーツ活動の技術指導と中心的な役割を担う日本スポーツ協会公認スポーツ指導者を養成するための講習会を開催した。

◆競技別指導者「指導員」養成講習会

実施競技	期 間	受講者
ソフトテニス	11/18・23・24 12/1 (4日間)	14名
空手道	12/1・2 2/2・3 (4日間)	26名

(2) スポーツ指導者研修会の開催

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資質向上を図るため、県スポーツ指導者協議会との共催で研修会を開催した。

◆中央研修会

- ・期 日：平成30年6月30日（土）
- ・場 所：山口市「パルトピアやまぐち」
- ・参加者：139名

◆東部地域研修会

- ・期 日：平成31年1月26日（土）
- ・場 所：周南市「周南地域地場産業振興センター」
- ・参加者：104名

◆西部地域研修会

- ・期 日：平成31年1月27日（日）
- ・場 所：宇部市「ココランド宇部」
- ・参加者：101名

7 ジャパン・ライジング・スタープロジェクト

日本スポーツ協会が実施する全国の将来性豊かなアスリートを発掘する事業を受託し、パラリンピック自転車競技(パラサイクリング)の拠点県として、障害者スポーツの普及・振興と地域スポーツの活性化を図るため、事業を実施した。

実施競技：パラリンピック自転車競技(パラサイクリング) 1名

拠点施設：山陽小野田市 山陽オートレース場

拠点合宿：5回（4月、5月、6月、8月、9月 各月1回）

修了式：11月24日（土） 日本体育大学 東京世田谷キャンパス「記念講堂」

8 顕彰・広報事業

(1) 顕彰事業

永年にわたり本県スポーツの普及・振興に尽力された功労者の表彰を行った。

- ・期 日：平成30年6月12日（火）
- ・場 所：山口市「ホテルかめ福」
- ・受賞者：25名 ※ 受賞者名は別途記載

(2) 広報事業

ホームページや広報誌により、本県スポーツの普及啓発を図った。

- ◆ 広報誌発行（7月・2月）

山口きらら博記念公園管理運営事業

県民の多様なスポーツ活動を総合的に支援するスポーツ交流拠点として整備された「山口きらら博記念公園」において施設利用等(水泳プールを含む)の管理運営業務を行った。

また、県が主催するスポーツイベント開催に当たり、運営補助を行うとともに、県が主催するスポーツ教室では、受講者の指導に当たった。

財政基盤の確立事業

本協会の目的に沿った各種事業の推進に向けて、「チームやまぐち応援プロジェクト」の募集及び財政基盤の確立に努めた。

◆特別寄附

(株)山口銀行 山口県ゴルフ協会

◆チームやまぐち応援募金(寄付)

(株)丸久

◆賛助会員

個人会員 219名

企業・その他団体 77団体

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人山口県体育協会